

WIN5 6 12 12 6 6 6 11 6 6 11 3連単 1着 6 2着 125 3着 7112 (30点)

本紙の見解

休み明け走るアクター

昨年夏以降「5001」のゴールドアクター。勝ち鞍はGII2鞍と有馬記念を含み、充実ぶりは際立っていた。前走の天皇賞(春)はイレ込みと7番枠が敗因。3ヶ月以上の休み明けは4戦全勝だし、過去3勝の中山コースも得意。関東圏の競馬ならイレ込みの不安もなく、中心馬として信頼したい。地方強化目立つマリアライトが相手。【単有望】

3連複 1 6 7 6 7 12 5 6 7 2 6 7 1 6 12 1 2 6 6 12 5 6 12 2 6 12

3連単 1 6 7 6 7 12 5 6 7 2 6 7 1 6 12 1 2 6 6 12 5 6 12 2 6 12

馬評 前走はアクターが大敗した6日ゴールドアクターだが、昨夏函館から5連勝。久々走るタイブで、有馬記念を制した中山

展開 平均ペース 37.1 37.8 38.0 38.6 39.0 39.7

Table with columns for race numbers 12 through 1, including horse names (e.g., サトノノブレス), jockeys (e.g., 田辺 功), and other details.

中山 11 発走 15:45

Table for horse numbers 1 through 11, listing names and other stats.

茅2200 (馬) logo and text

3連複 1 6 7 6 7 12 5 6 7 2 6 7 1 6 12 1 2 6 6 12 5 6 12 2 6 12

3連単 1 6 7 6 7 12 5 6 7 2 6 7 1 6 12 1 2 6 6 12 5 6 12 2 6 12

3連単 1 6 7 6 7 12 5 6 7 2 6 7 1 6 12 1 2 6 6 12 5 6 12 2 6 12

3連単 1 6 7 6 7 12 5 6 7 2 6 7 1 6 12 1 2 6 6 12 5 6 12 2 6 12

3連単 1 6 7 6 7 12 5 6 7 2 6 7 1 6 12 1 2 6 6 12 5 6 12 2 6 12

3連単 1 6 7 6 7 12 5 6 7 2 6 7 1 6 12 1 2 6 6 12 5 6 12 2 6 12

馬評 平均的な流れで落ち着きそうだが、好位2が早めに動いて出ると、それが目見ながら16も追撃開始。地方を問われる。

展開 平均ペース 37.1 37.8 38.0 38.6 39.0 39.7

展開 平均ペース 37.1 37.8 38.0 38.6 39.0 39.7

展開 平均ペース 37.1 37.8 38.0 38.6 39.0 39.7

展開 平均ペース 37.1 37.8 38.0 38.6 39.0 39.7

展開 平均ペース 37.1 37.8 38.0 38.6 39.0 39.7

来叩き着長化型でも侮れない。海外5着後の前走大敗でも、この相手なら侮れない。マリアライト。【入着級】

池江寿師が放牧先で帰厩後もしっかりと乗り込めた。直前の追い切りは単走でフワフワしていたが、オーバークワを避けたのは何より。良馬場でやればこの相手でも通る。

サトノノブレスは4歳時に日経新春杯(GII)優勝。前走2勝記念のレコードV含め重賞2勝。決った馬場は割り引きOPに昇級後③④着5ツツがバズアローは中山三で準OP勝ち。時計かかる流れなら上位との差も詰める。

柏木の単複連 (Table of race results and statistics)

◆宝塚記念9着以内馬の成績◆

18年	宝塚記念	3着
18年	宝塚記念	1着
20年	宝塚記念	2着
20年	宝塚記念	7着
21年	宝塚記念	2着
21年	宝塚記念	2着
22年	宝塚記念	4着
22年	宝塚記念	2着
23年	宝塚記念	1着
23年	宝塚記念	1着
24年	宝塚記念	1着
24年	宝塚記念	1着
25年	宝塚記念	2着
25年	宝塚記念	3着
26年	宝塚記念	2着
26年	宝塚記念	6着
27年	宝塚記念	3着
27年	宝塚記念	2着
27年	宝塚記念	2着

※着順は上が宝塚、下がオールカマー



小木曾大祐



今日の中山競馬は、全体的に混戦ムード。極端な力差はなく展開は大きなカギになります。

⑧Rのラミアアカサ。前走の前半3ハロン34秒8は、かなり先行有利な流れ。外からかぶさる直線苦しい位置取りから、ゴール前猛追してきた脚は、価値のある内容です。先行勢に人気馬が集まり、ここは早め早めの展開。前崩れと読み、単勝から狙っていきます。

阪神⑩Rは直前の稽古が、惚れ惚れするほどキレイな走りだったサトノダイヤモンド。状態に不安なしと見れば素直に◎。相手にハイペースの早月賞で勝負どころの追い上げが目立ったナムランゲン。まわりを全く問題にしなかった前走も、当然の結果。夏を越しての成長が目立ち、この2頭から3連単勝負。



大川浩史

むしろ恵まれたハンデ

▼JRAのクラス分けは非常に大雑把で、まずクラスの数が少ない。しかも勝つとどんどん昇級するので、同じクラスでも馬の力が拮抗しているとは限らないし、在籍クラスと馬の力が一致していない場合が多い。

しかも3歳限定戦と3歳以上の混合戦の間には「クラスのトリック」のようなものもあり、

◎オールカマー優勝馬の前走成績

19年	宝塚記念	3着
19年	宝塚記念	7着
20年	宝塚記念	2着
20年	宝塚記念	2着
21年	宝塚記念	11ヶ月
22年	宝塚記念	11ヶ月
23年	宝塚記念	11ヶ月
24年	宝塚記念	7ヶ月
25年	宝塚記念	7ヶ月
26年	宝塚記念	7ヶ月
27年	宝塚記念	7ヶ月

勝負の一手



郡和之

出走馬のうち4頭いた3歳馬で上位を独占する形となった古町特別だが、非常にハイレベルな一戦だった。同馬にハナ差先着の③着馬ノガロは次走の野分特別で4馬身差の圧勝、⑥⑦着馬も次走で勝ち上がった。北海道で力つけた同世代のテラノヴァが相手筆頭。

☆関東所属ジョッキー

名	対戦率	出走率	勝利率
① 着	40	21	19
② 着	17	18	17
③ 着	13	13	10
④ 着	17	17	14
⑤ 着	20	5	14
⑥ 着	11	11	11
⑦ 着	11	11	11
⑧ 着	11	11	11
⑨ 着	11	11	11
⑩ 着	11	11	11

☆関東所属ジョッキー

名	対戦率	出走率	勝利率
① 着	40	21	19
② 着	17	18	17
③ 着	13	13	10
④ 着	17	17	14
⑤ 着	20	5	14
⑥ 着	11	11	11
⑦ 着	11	11	11
⑧ 着	11	11	11
⑨ 着	11	11	11
⑩ 着	11	11	11

手筆頭。

「3歳GIIIで上位に来ていても3歳以上1000万で上位とは限らない」ことは先週書いた。

▼さて、ナガラフラーワ(阪神9R)は格上挑戦なのに、ハンデ53キロ(牡馬換算で55キロ)。「見込まれた」とされているようにだが、昨年このレースでハンデ52キロだった馬。それより重くなっているようだが、昨年9月は3歳だったため、当時の52キロは実質54キロ。つまり昨年より1キロ軽くなっている。

しかも前走は1000万レベルのレースだから、ハンデ53キロはむしろ恵まれたと思う。